

エピゲノム修飾による 生体恒常性維持機構の解明



講師 古澤 之裕

研究分野

分子細胞生物学、生物情報学、免疫学

研究内容

疾患の治療法の確立を目的として、生体の恒常性維持機構に関する分子細胞生物学的な研究を行っています。

私の研究のポイント

DNAメチル化およびヒストン化学修飾に代表される「エピゲノム修飾」は、発生や細胞分化における遺伝子発現調節機構として知られています。エピゲノムの異常が慢性炎症やがん等の疾患に関与する事から、人為的なエピゲノム修飾のコントロールによる治療法の開発が模索されています。現在は、次世代シーケンサーを用いた網羅的遺伝子解析手法を主体として、エピゲノム修飾による恒常性維持機構を明らかにすべく研究を行っています。本研究を通じて、疾患に対する治療技術確立のための分子基盤を構築したいと考えています。

